

注 記 事 項

〔 平成 24 年 5 月 1日 から
平成 25 年 3 月 31日 まで 〕

重要な会計方針に関する注記

1. 資産の評価基準及び評価方法
棚卸資産……………総平均法による原価法
(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価
切下げの方法)
2. 固定資産の減価償却の方法
(1) 有形固定資産 (リース資産除く)
建 物……………定額法
その他の有形固定資産……………定額法
(2) 無形固定資産 (リース資産除く) ……………定額法
3. 重要な引当金の計上基準
(1) 賞与引当金
従業員に対して支給する賞与の支出に備えるため、支給見込額のうち当事業年度末ま
でに発生していると認められる額を計上しております。
(2) 退職給付引当金
従業員の退職給付に備えるため、退職給付会計に関する実務指針 (日本公認会計士協
会会計制度委員会報告第13号) に定める簡便法により期末自己都合要支給額を計上し
ております。
4. その他計算書類作成のための基本となる重要な事項
(1) 消費税等の会計処理
消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方法によっております。

貸借対照表に関する注記

- | | |
|-----------------------|-------------|
| 1. 有形固定資産の減価償却累計額 | 2,335,849千円 |
| 2. 関係会社に対する金銭債権及び金銭債務 | |
| 短期金銭債権 | 45,930千円 |
| 短期金銭債務 | 1,061,775千円 |

税効果会計に関する注記

繰延税金資産の発生の主な原因は、減損損失、賞与引当金、退職給付引当金の否認等であります。

リースにより使用する固定資産に関する注記

貸借対照表に計上した固定資産のほか、リース契約により使用している設備及び車両がございます。

1 株当たり情報に関する注記

- | | |
|---------------|-------------|
| 1. 1株当たり純資産額 | 34,380円 89銭 |
| 2. 1株当たり当期純利益 | 12,878円 51銭 |

当期純損益金額 当期純利益 151,966千円